



「次代へつなげよう！県民協働による海岸防災林再生の^{もり}森林づくり」 記念講演会

東北学院大学教養学部教授 宮城豊彦氏

「海岸防災林等グリーンインフラの意義と今後の展望」

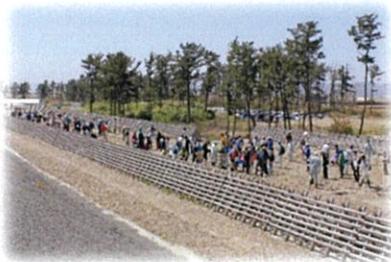
東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林について、地域住民等との協働によるその再生活動を一過性に終えることなく、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心をさらに深めてもらい、活動を通してそこに集った人々による新たなコミュニティづくりや「みどりの文化」の創出を図りながら、将来にわたりつなげていきます。併せて、本県の緑化運動のさらなる飛躍と豊かな緑溢れる県土の形成を図っていきます。

[開催日時・場所]

平成31年3月7日(木)午前10時から正午まで

仙台駅西口北側「アエル」21階 TKP ガーデンシティ仙台 21A

公益社団法人宮城県緑化推進委員会では、国や県との協定を締結して、企業や団体、一般県民等の協働により平成26年から海岸防災林再生活動を行っています。国有林については名取市で0.74ha、民有林については仙台市、岩沼市、東松島市、亶理町で計6.80haがその活動対象となっています。



宮城県との共催で行われた県民参加の植樹活動(岩沼市寺島川向 2015.4.26)



宮城豊彦氏プロフィール

1974年 東北学院大学文学部史学科卒業

1980年 東北大学大学院理学研究科地学専攻後期課程修了

1980年 東北学院大学文学部史学科助手

2005年 東北学院大学教養学部地域構想学科教授、現在に至る

この間に東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会委員、海岸防災林再生ボランティア活動審査委員会座長、栗駒山麓ジオパーク推進協議会荒砥沢地すべり地入林検討委員会委員、仙台市広瀬川清流保全審議会会長などを歴任